



## 2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社 進学会ホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 9760 URL <http://www.shingakukai.co.jp>  
 代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 平井 将浩  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長（氏名） 竹山 正輝 TEL 011-863-5557  
 半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	3,397	21.1	△607	—	△633	—	△771	—
2025年3月期中間期	2,804	37.6	△437	—	△457	—	△499	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 △758百万円（—%） 2025年3月期中間期 △487百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△44.31	—
2025年3月期中間期	△28.15	—

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	17,226	8,411	48.8	493.20
2025年3月期	23,617	9,313	39.4	527.57

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 8,406百万円 2025年3月期 9,310百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	20.1	△280	—	△330	—	△480	—	△27.58

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	20,031,000株	2025年3月期	20,031,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	2,985,526株	2025年3月期	2,382,496株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	17,404,591株	2025年3月期中間期	17,748,539株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項については、添付資料P.3「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2025年4月1日～2025年9月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や、インバウンド需要の増加、政府の各種施策などから、ゆるやかな景気の持ち直しが見られました。一方、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクの高まり、国内物価上昇の継続による個人消費への影響、金融資本市場の変動等の影響に注視を要する状況にあり、依然として先行き不透明な状態が続いております。

このような環境のもと、当社グループが今後の更なる成長を実現していくために、提携各社との一層のアライアンスの強化を行い、指導法や教材開発、募集活動等のノウハウの共有を図るとともに、全国の直営会場体制に関しては採算性の重視とスピード感のあるスクラップ&ビルドにより、質と量の両面において教室網の強化を進めております。

当中間連結会計期間の当社グループの運営につきましては、教育関連部門における個別指導部門を強化し、AIオンライン塾Go・KaKuを組み合わせた商品の開発など、売上増加施策に取り組んでまいりました。しかしながら、不採算本部・会場を昨年度末に閉じた影響で売上において計画を下回る結果となりました。

資金運用事業においては、前第1四半期の利益は好調でありましたが、4月に米国政府の通商政策の影響から株価が乱高下しており、売上は好調であったものの利益において計画を下回りました。

不動産事業においては、2024年に新たに設立した会社が軌道に乗ってきたことにより、当社グループの所有している販売用不動産を売却し、売上・利益ともに増加しております。

その結果、当中間連結会計期間(2025年4月1日～2025年9月30日)の売上高は3,397百万円(前中間連結会計期間比21.1%増)、営業損失は607百万円(前中間連結会計期間は437百万円の営業損失)、経常損失につきましては633百万円(前中間連結会計期間は457百万円の経常損失)となり、親会社株主に帰属する中間純損失は771百万円(前中間連結会計期間は499百万円の親会社株主に帰属する中間純損失)となりました。

当中間連結会計期間のセグメント別の概況は、次のとおりであります。

#### イ. 教育関連事業

コロナ禍で縮小させた会場数の回復を図るため、積極的な会場のスクラップ&ビルドを進めるとともに、採算性の向上に取り組んでおります。特に採算の合わない会場の移転・閉鎖を進めており経費の圧縮を進めています。

個別指導部門は売上高が前年を上回っている一方で、集団授業の縮小により売上の前中間連結会計期間比が下がりました。この結果、売上高は468百万円(前中間連結会計期間比11.7%減)となり、セグメント損失は93百万円(前中間連結会計期間は153百万円のセグメント損失)となりました。

#### ロ. スポーツ事業

道内3ヶ所に施設を構えるスポーツクラブZipは、昨年と比べ新規生の募集・入会ともに回復の兆しが見えてきました。夏の募集・入会は昨年の数字を上回りましたが、目標までの水準に届かず、売上高は158百万円(前中間連結会計期間比2.7%減)となり、セグメント損失は20百万円(前中間連結会計期間は13百万円のセグメント損失)となりました。

#### ハ. 不動産事業

不動産の売買や賃貸、学習塾部門の教室の管理・清掃に関わる不動産事業は、当中間連結会計期間に当社グループが所有している販売用不動産の売却があり、その結果、売上高は699百万円(前中間連結会計期間比151.1%増)となり、セグメント利益は198百万円(前中間連結会計期間比19.0%増)となりました。

#### ニ. 資金運用事業

資金運用会社である株式会社SG総研の売上高は1,882百万円(前中間連結会計期間比13.6%増)となり、セグメント損失は524百万円(前中間連結会計期間は242百万円のセグメント損失)となりました。

ホ. その他

本セグメントは報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教材の印刷や備品・消耗品の仕入れ販売などを含んでいます。売上高は188百万円(前中間連結会計期間比7.8%増)となり、セグメント利益は50百万円(前中間連結会計期間比19.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は9,366百万円となり、前連結会計年度末に比べて6,333百万円減少しました。これは主に現金及び預金が1,162百万円増加しましたが、有価証券が305百万円、販売用不動産が385百万円、未収入金が6,855百万円減少したことなどによるものです。固定資産は7,859百万円となり、前連結会計年度末に比べて57百万円減少しました。

この結果、総資産は17,226百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,390百万円減少しました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は、8,489百万円となり、前連結会計年度末に比べて5,538百万円減少しました。これは主に未払金が6,495百万円減少したことによるものです。固定負債を含めて負債合計は8,815百万円となり、前連結会計年度末に比べて5,487百万円減少しました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は、8,411百万円となり、前連結会計年度末に比べて902百万円減少しました。この結果、自己資本比率は48.8%(前連結会計年度末は39.4%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、本日開示しました「第2四半期業績予想と実績値の差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,476,347	6,638,677
営業未収入金	129,368	65,077
有価証券	305,566	—
商品及び製品	11,143	13,430
仕掛品	7,409	1,381
原材料及び貯蔵品	9,853	9,044
販売用不動産	2,767,669	2,382,061
未収入金	6,860,600	5,359
その他	137,480	255,352
貸倒引当金	△5,336	△3,397
流動資産合計	15,700,104	9,366,986
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,165,741	11,058,220
減価償却累計額	△7,445,872	△7,414,460
建物及び構築物(純額)	3,719,869	3,643,760
機械装置及び運搬具	548,226	547,152
減価償却累計額	△530,867	△532,029
機械装置及び運搬具(純額)	17,359	15,123
土地	3,064,442	3,064,442
その他	799,872	794,752
減価償却累計額	△789,419	△782,717
その他(純額)	10,453	12,034
有形固定資産合計	6,812,124	6,735,361
無形固定資産		
その他	11,035	8,607
無形固定資産合計	11,035	8,607
投資その他の資産		
投資有価証券	534,862	566,459
繰延税金資産	7,939	5,604
敷金及び保証金	107,954	99,200
退職給付に係る資産	352,458	354,473
その他	90,649	90,117
投資その他の資産合計	1,093,864	1,115,855
固定資産合計	7,917,023	7,859,824
資産合計	23,617,128	17,226,811

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	72,602	48,411
短期借入金	7,035,592	7,999,914
未払金	6,592,898	97,775
未払法人税等	118,932	76,727
未払費用	47,612	47,341
前受金	109,819	173,816
その他	50,887	45,851
流動負債合計	14,028,345	8,489,838
固定負債		
繰延税金負債	54,488	120,075
役員退職慰労引当金	96,158	100,679
資産除去債務	77,588	57,464
預り敷金保証金	46,700	47,390
固定負債合計	274,936	325,610
負債合計	14,303,282	8,815,449
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,984,100	3,984,100
資本剰余金	3,344,000	3,344,000
利益剰余金	2,976,995	2,161,682
自己株式	△1,043,057	△1,143,025
株主資本合計	9,262,037	8,346,756
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,587	20,201
退職給付に係る調整累計額	51,357	39,910
その他の包括利益累計額合計	48,770	60,111
非支配株主持分	3,038	4,493
純資産合計	9,313,846	8,411,361
負債純資産合計	23,617,128	17,226,811

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	2,804,317	3,397,191
売上原価	2,921,644	3,731,304
売上総損失(△)	△117,327	△334,113
販売費及び一般管理費	320,564	273,090
営業損失(△)	△437,891	△607,203
営業外収益		
受取利息	328	2,187
受取配当金	8,103	7,397
補助金収入	3,825	—
その他	7,911	5,418
営業外収益合計	20,168	15,002
営業外費用		
支払利息	6,835	25,109
解決金	25,209	9,000
その他	7,501	6,860
営業外費用合計	39,546	40,970
経常損失(△)	△457,269	△633,171
特別利益		
固定資産売却益	1,046	214
投資有価証券売却益	10,672	300
特別利益合計	11,719	515
特別損失		
固定資産除却損	2,533	1,250
特別損失合計	2,533	1,250
税金等調整前中間純損失(△)	△448,084	△633,905
法人税等	52,561	135,830
中間純損失(△)	△500,645	△769,736
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	△1,011	1,455
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△499,634	△771,191



## 中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純損失(△)	△500,645	△769,736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,416	22,788
退職給付に係る調整額	△13,780	△11,446
その他の包括利益合計	13,635	11,341
中間包括利益	△487,010	△758,395
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△485,998	△759,850
非支配株主に係る中間包括利益	△1,011	1,455

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。